

セミナープログラム

受講無料／事前申込制 ※定員になり次第締切
申込期限 2025年4月3日(12:00迄)

お申し込みはこちらから▶



4月8日(火) 定員各100名 建設 セミナー室A

10:00~10:45 (株)ニコン・トリンプル 建築向けセミナー 講演者:長谷部 健司氏

自動墨出しから建て方まで ~TrimbleのBIM実装支援ソリューションのご紹介~

このセミナーではBIM実装を支援するTrimble製品のさまざまな活用に関してご紹介いたします。電気空調設備の分野で定評のあるワンマン墨出しシステム「Field Link」を用いたRの活用方法についてご紹介いたします。さらにTrimble RTS5730の高い追尾性能を利用した、HP社製ロボット「SitePrint」で仕上げる画期的な墨出作業をご提案いたします。また参考出品としてRを用いた「建て方システム」をご紹介いたします。Trimble R1のターゲットロック機能は建て方作業においても効率化を実現します。

11:00~11:45 (株)兵庫土木サポート CPDS認証1ユニット 講演者:糸谷 貴志氏

ICT活用と普段使いについて

- ①:【人・モノの視点】時代の流れはとめられない。
- ②:【お金の視点】
- ③:では実際にどうする?

YouTube登録者数 1.72万人「ジョウ所長の土木技術者サポートチャンネル」の糸谷様の講演です。



13:00~13:45 福井コンピュータアーキテクト(株) BIM対象 講演者:山崎 敬史氏

建築現場が楽になる施工BIMの活用(建築現場で座標や点群データを活用し生産性を向上)

BIMモデルを活用するといった角度から形状が確認でき、複雑な納まりや部材の干渉チェックに活用できます。これにより現場での問題の洗い出しや関係者の合意形成が図れ施工をスムーズに行えます。また部材には寸法・材質などの情報が含まれており、コンクリートや鉄筋などのすぐ知りたい数量を自動的に算出することができ、本セミナーでは施工BIMでのメリットや建設会社様のBIMモデルから出力した座標を使った墨出し、点群データとBIMモデルを活用した事例等をご紹介致します。

14:00~14:45 (株)ビーイング CPDS認証1ユニット 講演者:岡部 美里氏・河野 陽介氏

建設DXへの第一歩「GaiaCloud」を活用した業務改善

「GaiaCloud」の積算データを活用した実行予算システムの連動による業務改善を解説させていただきます。
・土木工事積算システム「GaiaCloud」の概要説明
・見積・実行予算システム「BeingBudget」の概要説明

15:00~15:45 (株)建設システム CPDS認証1ユニット 講演者:田中 洋介氏

ITツールを活用したバックオフィス部門との協業体制強化

現場技術者は、現場の安全や品質・コストを管理しなければならぬ中、最近ではICTの進化・普及が進み、業務範囲が、さらに多岐ようになってきています。例えば、技術者の全業務のうち半分以上を占めている書類業務を技術者から一人で行うのではなく、書類作成業務を社内で分業することで、新たな現場運用の形を構築し、働き方改革を推進していくことが可能となります。最近注目されている「建設ディレクター」との協業体制事例なども踏まえ、会社のバックオフィス部門との協業体制強化のヒントとなる手法などをお伝えします。

16:00~16:45 (株)レイメイセキド CPDS認証1ユニット 講演者:木村 亮氏

ドローンの国家操縦士ライセンスとは(民間資格とは何が違う)

本セミナーでは、建設業でも活用が加速しているドローンに関する国家資格制度と民間資格制度の違いについて詳しく解説します。近年、ドローンの利用が急速に拡大する中で、資格を取得することが求められてきております。従来の民間資格制度より国家資格制度への過渡期となっている今、どのような資格取得の流れを辿ればいかに講演させて頂きます。最後に助成金についてもご説明させて頂きます。

4月9日(水) 定員各100名 建設 セミナー室A

10:00~10:45 トプコンキアポジショニングジャパン CPDS認証1ユニット 講演者:中岡 奨氏

i-Construction 2.0 3次元点群計測の原則化

ICT活用工事の普及と共に、3次元点群データによって大幅に測量作業が効率化されることへの理解が進みました。しかしながら、3次元点群データを扱う技術者育成に対する不安から、必要ときに計測できないといった課題がありました。国土交通省より示されたi-Construction 2.0に対応する3次元点群計測の内製化促進を目的に、「ESN-100」と「Topcon Raster Scan」をリリースいたしました。i-Construction 2.0の概要を踏まえ説明いたします。

11:00~11:45 ワイエメネス CPDS認証1ユニット 講演者:山西 公彦氏

小規模工事から完全内製化まで(エンプロイヤーブランディング)

- ・STEP1(設計データ内製化) 小規模工事から始める3D施工、生産性向上と利益向上
- ・STEP2(点群データの活用とその魅力) 静岡県伊豆市の国産での点群活用施工事例
- ・STEP3(エンプロイヤーブランディング) i-Constructionがもたらした「働きたい会社」への変遷進化と真価

13:00~13:45 (株)コンピュータシステム研究所 CPDS認証1ユニット 講演者:中村 龍平氏

2025建設業法改正に対応!現場の安全と効率化を実現する 最新システム体験CXセミナー(安全対策と従業員の処遇改善支援を同時に実現する最新の取り組み~)

現場の安全を守り、且つ原価管理を効率化するための体験型プログラム
①実際の災害事例を基にした安全対策演習②VRゴーグルで事故疑似体験③原価管理システムの体験型シンプル操作で原価管理を効率化!無駄なコストを削減し、賃上げにつながる仕組みを体験していただけます。

14:00~14:45 (株)建設システム 建築向けセミナー 講演者:水島 太郎氏

タブレットの有効活用と生産性向上セミナー

建設現場におけるタブレットの導入が一般的になりました。一方で導入したタブレットの使い道が分からず、使いこなせていない。特定の機能でしか使っていないと言うケースも多く耳にします。本セミナーではタブレットを活用することで出来る現場管理(写真・図面・検査)の業務効率化の方法について解説致します。

15:00~15:45 福井コンピュータ(株) CPDS認証1ユニット 講演者:南曲 和也氏

2025年度 BIM/CIM・ICTの最新動向と対策

BIM/CIM原則適用から3年目に突入し、測量・設計から施工へのスムーズなデータ連携がより一層求められています。また、ICT施工は次のステージ(i-Construction 2.0)に突入し、一工種の効率化だけではなく建設現場全体のオートメーション化を目指すことになりました。2024年度末に発表されたBIM/CIM、ICTの最新動向を皆様に分かりやすく解説し、福井コンピュータソリューションを交えた対応策をお伝えいたします。

16:00~16:45 (株)FIGHICS 情報提供 講演者:田中 桂二氏

建設事業者の方向け補助金・助成金セミナー

- 1.補助金・助成金それぞれの違い、メリット・デメリット、予算編成スケジュールなど
- 2.2025年度おすすめ補助金・助成金今年度のおすすしめ施策を具体的に紹介
- 3.補助金・助成金申請の流れ一般的な補助金・助成金申請の流れ
- 4.その他、お得な優遇税 設備の一括償却制度などの紹介

定員各100名 CPD対象セミナー 測量設計 セミナー室B

10:00~10:45 国土地理院 講演者:九州地方測量部様

令和7年度の標高改正について

令和7年に変更される測地成果2024の解説と、準則及び測量法改定内容についての講演を行います。

11:00~11:45 福井コンピュータ(株) 講演者:南曲 和也氏

2025年度 BIM/CIM・ICTの最新動向と対策

BIM/CIM原則適用から3年目に突入し、測量・設計から施工へのスムーズなデータ連携がより一層求められています。また、ICT施工は次のステージ(i-Construction 2.0)に突入し、一工種の効率化だけではなく建設現場全体のオートメーション化を目指すことになりました。2024年度末に発表されたBIM/CIM、ICTの最新動向を皆様に分かりやすく解説し、福井コンピュータソリューションを交えた対応策をお伝えいたします。

13:00~13:45 (株)ニコン・トリンプル 講演者:増田 栄作氏

建設DXの効率的な実現に向け、建設クラウド(Trimble Connect)を利用した事例をご紹介します。

クラウドシステムの利用により、設計データの情報共有を図り、最新フィールドソフトウェアによる施工管理から、AR技術の利用による施工状況の確認。更には、最新技術を搭載したハイブリッド型トータルステーション、IMU搭載GNSS測量機への情報共有により、作業効率の向上が図れる一連の作業事例をご紹介します。

14:00~14:45 (株)アイ・エス・ピー 講演者:波場 貴士氏

点群を活用した差分解析「応用編」~維持管理の未来を考える~(インフラ維持点検支援システム「MEMOREAD」)

維持管理全盛期を迎え、今後ますます新技術の活用が求められる時代となってきています。図面の無い構造物も多く、点群を利用した3Dモデル作成、わずかな凹凸も見逃さない「差分解析」で可視化するスクリーニング技術、構造物の長寿命化に向けた早期対策など、様々な活用事例をまじえてご紹介致します。

15:00~15:45 イエロースキャンジャパン(株) 講演者:稲葉 伸二氏・古川 恵里奈氏

グリーンレーザーによるドローン・レーザー深淺測量の失敗しない方法 YellowScan Navigator

UAVを利用したレーザー深淺測量グリーンレーザー基礎技術の理論について講習します。グリーンレーザーの特徴、処理のワークフロー、計測事例をご紹介します。YellowScan 深淺測量用ドローン・レーザー「Navigator」の最新技術の紹介とUAV レーザー測量の最新情報を併せて、ご紹介致します。

16:00~16:45 (株)イメージワン 講演者:築達 明日翔氏

【スマホで簡単】写真測量ソフトウェアのご紹介

既存のLiDAR方式のスマートフォントウェアは一線を図す「フォトグラメトリ(写真測量)方式」をベースにLiDARデータを統合したPIX4Dcatch RTKは、高精細な三次元点群を作成することができることから、精度が高く高密度な三次元点群が作成できます。本セミナーでは既存方式との違いや事例を交えてご案内いたします。

定員各100名 CPD対象セミナー 測量設計 セミナー室B

10:00~10:45 (株)ニコン・トリンプル 講演者:美濃羽 奈津子氏

ニコン・トリンプル GNSS 測量システム「測地成果 2024」への対応

令和7年4月1日より、電子基準点、三角点、水準点等の標高成果を衛星測位を基盤とする最新の値(測地成果2024)に改定されます。これにより地盤変動で累積した標高成果のスレ等が解消でき、測量や公共工事等において生産性向上が期待されています。また、「測地成果2024」では、水準点の標高を求めるための新たな手法として「GNSS標高測量」が導入されます。これら「測地成果2024」への対応に対し、ニコン・トリンプル GNSS測量システムを通じ、ご説明致します。

11:00~11:45 (株)みるくる 講演者:稲葉 伸二氏・古川 恵里奈氏

最新LiDAR SLAM技術紹介

自立計測による最新技術計測技術のご紹介と公共測量マニュアルについて
LiDAR SLAMの基礎知識からLiDAR SLAM 技術を用いた公共測量マニュアルについて解説いたします。
・HoverMAPの最新のテクノロジーで紹介。UAV搭載による自律障害飛行、ポスティングダイナミック社「SPOT」による自律飛行測量システムを、ご紹介致します。

13:00~13:45 オートデスク(株) 講演者:松延 陽氏

BIM/CIM最新動向のご紹介(ユーザー事例と生産性向上のための3次元ソリューション)

オートデスクが提供する、3次元「BIM/CIM」製品を、測量設計コンサルタント業・建設業様の活用事例を基にご紹介させていただきます。
Autodesk AEC Collectionは、設計者、エンジニア、建設の専門家が必要とするツールを提供します。作業を効率化し、施工可能性を確認しながら統合されたワークフローを実現します。

14:00~14:45 (株)ジェノバ 講演者:藤原 智氏

新登場「GNSS 標高測量」(GNSSが標高の基準になる時代、「高さ」との付き合い方はどうなるか?)

2025(令和7年)4月から、標高(高さ)の基準が新しくなります。近代測量150年以上の歴史のなかで、高さの基準が大幅に変更になるのははじめてのことです。いままでは、高さは水準測量によって決められてきました。水準測量は長距離では誤差が蓄積します。これからはGNSSが高さの基準です。長距離でも安定して高さが得られ、災害発生時でも短時間で全体の高さが得られます。測量からICT施工まであらゆる分野において、「高さ」とどのように付き合っていくべきなのかを考えていきます。

15:00~15:45 アイサンテクノロジー(株) 講演者:松永 健一氏

点群から平面数値地形図作成する専用CAD ANIST

点群データから平面数値地形図作成作業の、効率化についてお話しします。点群データから平面数値地形図を描くことに新たな点群の表現方法を実現し「見えなかったところが見える」「描けなかったところを描ける」コマンド・専用の現況作図コマンドにより従来の点群トレースと比較して、スピーディかつ容易に作成できることを実感いただけます。

16:00~16:45 (株)アルモニコス 講演者:宮崎 祐樹氏

建設DXを加速する!点群モデル化ソフトClassNK-PEERLESSの活用事例

建設業界のデジタルトランスフォーメーション(DX)が進む中、BIM/CIMの導入がますます重要視されています。本デモンストレーションでは、点群モデル化ソフト ClassNK-PEERLESS を使用して、効率的かつ高精度の高い3Dモデルを生成するプロセスをご紹介します。BIM/CIM業界、異なる業種のプロジェク事例を紹介するとともに、実際の作業手順について詳しく解説します。

※講演者・講演内容が変更になる場合がございます。ご了承ください。